

平成 27 年 度
(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

事 業 報 告 書

公益財団法人 松尾学術振興財団

平成 27 年度 事業 報告 書

1. 事業の状況

(1) 自然科学の学術研究助成（公益目的事業 1）

4 月 17 日に当財団の助成に関係すると思われる全国の 160 の大学・研究機関等に推薦依頼を行った。7 月 31 日の締め切りまでに 43 件の応募があり、下記の 6 件が採択された。

第 28 回（平成 27 年度）松尾学術研究助成

推薦者	研究題目	代表研究者	助成 金額 (万円)
東京工業大学大学院 理工学研究科 理学系長 岡田 哲男	分子の光解離で生成した量子もつれ励起原子対の研究	東京工業大学大学院 助教 穂坂 綱一	430
産業技術総合研究所 理事長 中鉢 良治	極低温原子集団と単一ナノ粒子の相互作用に関する研究	産業技術総合研究所 主任研究員 赤松 大輔	400
電気通信大学 学長 福田 喬	フォトニック結晶ナノファイバー共振器近傍にトラップした単一原子による共振器 QED	電気通信大学 特任准教授 Nayak, Kali Prasanna	360
電気通信大学 学長 福田 喬	マイクロ光トラップアレー中のリドベルグ原子を用いた量子シミュレーター	電気通信大学 レーザー新世代研究センター 教授 中川 賢一	310
理化学研究所 外部資金室長 小澤 佳人	精密原子分光法を用いた不安定原子核の電磁モーメント研究	理化学研究所 仁科加速器研究センター 研究員 高峰 愛子	420
東北大学 電子光理学研究センター 教授 濱 広幸	リドベルグ原子直接光イオン化によるダークマター候補素粒子アクシオンの広域質量一括探索	東北大学 電子光理学研究センター 助教 時安 敦史	280
合 計 (6 件)			2200

<研究助成募集要項抜粋>

1. 助成対象研究分野

原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学の基礎に関する実験的・理論的研究及びこれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究
新しい創造的な発展の可能性を持つ萌芽的な研究を特に歓迎します。

- a)新レーザー分光学
- b)量子エレクトロニクスと新計測技術
- c)物質波・物質波光学
- d)電磁場中の原子過程
- e)特異な原子・分子構造とダイナミクス

2. 助成対象者

大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者
推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

3. 助成金額と助成件数

助成金額 総額 2200 万円

件数 5～6 件(1 件当たり 200～500 万円)

助成金の使途 (1) 設備備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅費 (4) 謝金
(5) その他

4. 募集締切 7 月 31 日

5. 審査・決定

自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9 月中旬予定)

自然科学選考委員会

(委員長) 藪崎 努 加藤 義章 北野 正雄 山崎 泰規
渡辺 信一 五神 真

(2) 褒賞 (公益目的事業 2)

松尾財団宅間宏記念学術賞

学術研究助成とセットで全国に関連する大学、研究機関に推薦依頼を行った結果、5 件の推薦をいただいた。昨年からの持ち越し 1 件と合わせて、6 件の審査を行った結果、下記の授賞が決定した。

第 19 回 (平成 27 年度) 松尾財団宅間宏記念学術賞 賞金 200 万円

推 薦 者	研 究 題 目	受 賞 者
東北大学 電気通信研究所 所長 大野 英男	光子を用いた量子もつれ、量子計測、 不確定性関係の研究	東北大学 電気通信研究所 教授 枝松 圭一

<学術賞推薦要項抜粋>

1. 対象となる研究分野
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究
2. 授賞対象者
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者で現に研究の第一線で活躍している者を優先(若手研究者を優先)
3. 推薦者
財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
4. 賞金と件数
原則として1件 賞金 200 万円
5. 募集締切り
7月 31 日
6. 審査・決定
審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

◎ 研究助成金及び松尾財団宅間宏記念学術賞の贈呈式は 10 月 27 日如水会館にて行った。

(3) 調査研究事業（公益目的事業 3）

平成 27 年の学術界は「大学の文系学部の見直し」（文科省通達）と「大学グローバルランキング」（英国 T.H.E.）の世論に沸いた年だったが、前者については逆に理系からも反論が相次ぎ、「人文科学の軽視は大学教育全体を底の浅いものにしかねない」と産学両側から厳しい反論が出て、文科省は通達の火消に走る事態（日本学術会議大西隆会長）になった。後者については、「日本の学術は欧米の学術用語の日本語化に成功し、逆に今は日本語の学術概念を欧米語化して海外発信する高度なグローバル化のプロセスを踏んでおり、それこそ真のグローバル精神である」（日経オピニオン盤側）とする反論が起こり、発端となった T.H.E. 自体が「日本版の大学グローバルランキング」の策定を計画するようになった。東京大学の五神真総長も「世界に卓越した多様性連関の知の創造と大学院の学際化」に向けた新方針を打ち出した。

上記のごとき世論の経緯は、当財団における「自然科学と人文科学の両面性（論理結合）」と「日本の学術の勿体性理論」の確立という研究の公益的基盤を示唆しているので、『自然科学と人文科学の論理結合』（平成 26 年度研究）第 2 章 4 項の深耕として、別紙『研究要覧』のとおり、1. 『日本の学術ゲノム』 2. 『日本の学術ゲノムの起源と進展』 3. 『日本の学術ゲノムに於ける二分律含意概念』 4. 『日本の人文ゲノム』 5. 『日本の学術ゲノムに於ける含意マトリクス』の諸論考を纏めた。また、上記の如きメディア世論検索調査から、グローバル化の時代潮流における事実認識と価値判断についてのアイデア・フィッサ（固定学想）の論考が必要となることが判断されるので、それを平成 28 年度の研究テーマとし、6. 『間主観性マトリクスの研究視点』を纏め、IBN 出版提言への段階的作業を進めた。

(4) 松尾音楽助成（公益目的事業4）

平成27年度は、5月15日音楽大学17校及び管弦楽団13団体に推薦依頼を行なった。応募（推薦）5件を受けオーディション及び選考委員会での討議を経て次の3件が採択となった。

第26回(平成27年度)松尾音楽助成

推薦者	団体名	助成期間	助成金額
Kuss Quartett Prof. Oliver Wille	Quartet Berlin-Tokyo 守屋 剛志(Vn) ヴァイオリニスト Moti Pavlov (Vn) ヴァイオリニスト 杉田 恵理(Va) ヴィオリスト 松本 瑠依子 (Vc) チェリスト	1年	300万円

第26回(平成27年度)松尾音楽助成（奨励金）

推薦者	団体名	助成期間	助成金額
桐朋学園大学 原田 幸一郎 教授	Quartet Arpa 小川 響子(Vn) ヴァイオリニスト 戸原 直 (Vn) ヴァイオリニスト 古賀 郁音(Va) ヴィオリスト 伊東 裕 (Vc) チェリスト	1年	50万円
桐朋学園大学 磯村 和英 特任教授	カルテット・アマービレ 篠原 悠那(Vn) ヴァイオリニスト 北田 千尋 (Vn) ヴァイオリニスト 中 恵菜(Va) ヴィオリスト 笹沼 樹 (Vc) チェリスト	1年	50万円

<音楽助成推薦要項抜粋>

1. 助成対象者

本格的に弦楽四重奏に取り組んでいる若手の弦楽四重奏団のメンバーでメンバーの平均年齢が35歳までとする。〈メンバーの所属に関する制限はない。同一機関、同一大学等でもよい。〉

2. 採択件数 1～2件

3. 助成金額 上限は400万円

4. 助成期間 1年

5. 助成金の使途

研修・研鑽のためなら特に制限を設けていないが、助成決定の際に財団と協議の上定める。

6. 応募(推薦) 音楽界有識者の推薦による。

7. 推薦締切日 平成27年12月19日

8. 選考方法

1)第1次審査 書類選考

2)第2次審査 オーディション 日時 平成28年2月3日

場所 OAG ドイツ東洋文化研究協会ホール

第1次合格者に対するオーディションで、課題曲は次のとおり。

A. すべてのハイドンの弦楽四重奏曲、またはすべてのモーツァルトの弦楽四重奏曲

B. ベートーヴェンの弦楽四重奏曲 op.18 全曲、op.59 全曲、op.74、op.95

C. 20世紀に書かれた弦楽四重奏曲

以上のA. B. Cから各1曲を選択し、計3曲を演奏します。

注) 2年連続でこのオーディションに参加するグループは、A. B. Cのすべてにおいて、前年度とは違う課題曲を選択してください。

尚、前々年度以前に演奏した課題曲を再度選択することは可能です。

選考は次の選考委員会で行う。

(委員長) 岡山 潔 大谷 康子 川崎 和憲 澤 和樹
原田幸一郎 山崎 伸子

9. 助成の決定 選考委員会の選考を経て、財団理事会において決定する。

10. 研修成果発表 平成29年2月26日(日)マツオコンサートにおいて成果発表演奏会を行う。

マツオコンサートの開催

音楽助成の成果発表の場としてのマツオコンサートは昨年度助成の下記1団体により次のとおり開催した。(尚、奨励の一団体は日程の都合で欠席された)

第23回マツオコンサート

開催日 平成28年2月28日 14時～

会場 よみうり大手町ホール

出演者と曲目

Quartet Arpa

小川 響子(Vn) ヴァイオリニスト

戸原 直 (Vn) ヴァイオリニスト

古賀 郁音(Va) ヴィオリスト

伊東 裕 (Vc) チェリスト

曲目

ハイドン：弦楽四重奏曲 変ホ長調 作品33, 第2番「冗談」

シューベルト：弦楽四重奏曲 第12番 ハ短調 D.703「四重奏断章」

ヤナーチェク：弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調 「クロイツェル・ソナタ」

ブラームス：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 作品51

聴衆 386名

2.会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 27 年 5 月 18 日	1)平成 26 年度事業報告書承認の件 2)平成 26 年度決算報告書承認の件 3)任期満了に伴う理事候補推薦の件 4)評議員会開催の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
9 月 16 日	(決議の省略により開催) 1)第 19 回松尾財団宅間宏記念学術賞 決定の件 2)第 28 回松尾学術研究助成決定の件	提案内容に全員賛成 の回答 提案内容に対し全員 賛成の回答
平成 28 年 3 月 17 日	1)第 26 回(平成 27 年度)松尾音楽助成決定 の件 2)平成 28 年度事業計画承認の件 3)平成 28 年度収支予算書承認の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 27 年 6 月 10 日	1)平成 26 年度事業報告書承認の件 2)平成 26 年度決算報告書承認の件 3)任期満了に伴う理事選任の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 27 年 8 月 28 日	平成 27 年度松尾学術賞審査・採択候補選 出の件 平成 27 年度松尾学術研究助成審査・採択 候補選出の件	全員一致で決定 全員一致で決定

3.処務事項

発生年月日	項 目	備 考
平成 27 年 4 月 17 日	第 19 回松尾学術賞・第 28 回松尾学術研究助成候補者推薦方依頼（大学他）	
5 月 15 日	第 26 回音楽助成候補推薦方依頼（音楽大学他）	
5 月 18 日	理事会 平成 26 年度事業報告書・収支決算書承認の件他	
6 月 10 日	評議員会 平成 26 年度事業報告書・収支決算書承認の件	
6 月 24 日	平成 26 年度事業報告書・収支決算書 届出 公益認定等委員会	
7 月 31 日	松尾学術賞・学術研究助成推薦応募締切り	
8 月 18 日	年報「第 27 回事業報告書 2014」刊行	
8 月 28 日	松尾学術賞・研究助成の選考委員会	
9 月 16 日	決議の省略による理事会 第 19 回松尾財団宅間宏記念学術賞・第 28 回松尾学術研究助成決定	
10 月 27 日	第 19 回松尾財団宅間宏記念学術賞 第 28 回松尾学術研究助成金 贈呈式開催 如水会館	
12 月 1 日	マツオコンサート入場希望者受付開始	
平成 28 年 2 月 3 日	第 26 回松尾音楽助成オーディション・選考委員会	
3 月 17 日	理事会 1)第 26 回(平成 27 年度)松尾音楽助成決定の件 2)平成 28 年度事業計画書承認の件 3)平成 28 年度収支予算書承認の件	
3 月 25 日	平成 28 年度事業計画書 平成 28 年度収支予算書 届出 公益認定等委員会	